

2024年11月29日 第3492回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *公益社団法人 神奈川被害者支援センター

専務理事兼所長 永野 弘 幸 様

*明治安田生命保険相互会社 横須賀営業部部長 真野 俊 和 様

<ビジター紹介> *国際ロータリー第2780地区2026~2027年度ガバナー・ノミネー 中 込 仁 志 様

<新会員入会式> *杵 渕 哲 也 会員

<会長報告> *ガバナー事務所より

・IA委員会・アクターズミーティング開催のご案内について

日時：12月14日(土) 13:00~13:30 IA委員会

14:00~17:00 アクターズミーティング

場所：第一相澤ビル8F「会議室」

・地区ローターアクト委員会のご案内について

日時：12月15日(日) 13:00~ 委員会

場所：第一相澤ビル8F「会議室」

・2024-2025年度危機管理セミナー開催のご案内について

日時：2025年1月18日(土) 受付13:00~13:30

開会13:30、閉会16:00

場所：藤沢商工会館ミナパーク6F「多目的ホール」

<委員長報告> *国際奉仕委員会 加藤(淳)委員長より社会・国際奉仕委員長セミナー 報告

*インターアクト委員会 石田委員長よりインターアクト年次大会 報告

<幹事報告> *ガバナー月信 No.5配布

*本日18:00より甲羅本店にて歴代会長会議開催

<出席報告> *出席委員会 白井委員長より11月29日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
116名	104名	63名(1名)	41名	8名	67.62%

メークアップ：北村、齋藤(秀)、鈴木(之)、田中 各会員 地区委員会出席

萩原、吉田(久)、渡辺 各会員 ポリオ募金活動出席 前田会員 第1G会長幹事会出席

<ニコニコ報告>

・国際ロータリー第2780地区2026~2027年度ガバナー・ノミネー 中 込 仁 志 様

数年間に渡り地区青少年奉仕委員会でお世話になりました高橋会長の晴れの姿を見せて頂きに参りました。会長ご就任おめでとうございます。

・三 役 公益社団法人神奈川被害者支援センター 専務理事兼所長 永野弘幸様、横須賀RCへお越しいただきありがとうございます。本日の卓話どうぞ宜しくお願いいたします。

・児 玉、梶 木、齋藤 眞、濱 田、杉 浦、権 田、寺 田、
江 沢、野 坂、澤 田、小佐野、根 岸、松本 眞 各会員

公益社団法人神奈川被害者支援センター 専務理事兼所長 永野弘幸様、社会全体で取り組む必要性と理解への一歩となる大切なお話を楽しみにしております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

・三 役 国際ロータリー第2780地区2026~2027年度ガバナー・ノミネー中込仁志様
本日は当クラブ例会にご出席戴き有難うございます。ごゆっくりお過ごし下さい。

・齋藤 眞、角 井、小林 眞、佐久間、田 邊、岡田 眞、小 沢 各会員

国際ロータリー第2780地区2026~2027年度ガバナー・ノミネー中込仁志様

ようこそお越しくださいました。どうぞ例会をお楽しみください。

- ・鹿島 会員 誕生月祝いとして
- ・三 役 杵渕哲也会員、お帰りなさい！また一緒にロータリーライフを楽しみましょう。
- ・大石、竹株、木村、梁井、齋藤眞、椿、濱田、小澤、新倉、鈴木豊、江口、田邊、澤田、小佐野、大野健、臼井、飯塚、藤村、三堀、小山(働) 各会員
杵渕哲也会員お帰りなさい！また一緒にロータリーライフを満喫しましょう！！
- ・杵渕 会員 この度は改めて入会させて頂き、誠に感謝申し上げます。これからお世話になります。どうぞ宜しくお願いいたします。
- ・1番テーブル八巻マスター、物井サブマスター 11月27日(木)、甲羅本店にて1番テーブルミーティングを開催しました。高橋会長、兼城幹事、比護副SAAご参加ありがとうございました。また小沢会員より美味しい料理とお酒、お土産のチーズケーキまで頂き感謝を申し上げます。皆さんとの会話も盛り上がりとても楽しい会になりました。
- ・小林(-)、長尾、田邊、加藤(元)、徳永、齋藤(働) 各会員 11月27日、甲羅本店にて1番テーブルミーティングが開催されました。高橋会長、兼城幹事、比護副SAAにもご参加いただき、とても美味しい料理、お酒、楽しい会話でとても有意義なテーブルミーティングでした。八巻テーブルマスター、物井サブマスター、会場設営をして頂いた小沢会員大変お世話になりました。小沢会員から頂いたチーズケーキとても美味しかったです。
- ・3番テーブル木村マスター、渡辺サブマスター 11月18日に米が浜セッテにて3番テーブルミーティングを行いました。美味しいお酒とイタリアンで親交を深めました。
- ・三井、松本(働)、岡田(働) 各会員 11月18日、セッテにてテーブルミーティングが行われました。美味しいイタリアンに、岡田英城会員、木村テーブルマスターからのワインを堪能し苗字の由来などで盛り上がりました。木村テーブルマスター、渡辺努サブマスターお世話になりありがとうございました。
- ・6番テーブル小平マスター、寺田サブマスター 11月18日月曜日、鐵丸にて6番テーブルミーティングを行いました。当日は高橋会長にもご参加頂き非常に楽しい時間となりました。美味しいお蕎麦に最後はチーズケーキのお土産までついて長幸さんにも感謝です。
- ・加藤(働)、谷 両会員 11月18日(月)に6番テーブル夜間MTを鐵丸にて開催致しました。当日は高橋会長もご参加頂き、皆さん美味しい料理と楽しい会話を楽しみました。小平テーブルマスター、寺田サブマスター本当にありがとうございました。また、小澤長幸会員美味しいチーズケーキのお土産もありがとうございました。
- ・7番テーブル鈴木(働) マスター、大野(働) サブマスター 去る今月18日、メルキュールホテルにて7番TMを開催しました。当日は三宅さんや兼城幹事、比護副SAAにもお越し頂き又齋藤眞且会員からは夜の世界で評判のシャンパン「エンジェル」も差入れ頂き美味しいお食事をお供にくせの強いメンバー達が大きに盛り上がりました。皆様ありがとうございました！
- ・竹株、齋藤(働)、角井 各会員 11月18日、メルキュールホテルで7番テーブルミーティングを開催して頂きました。兼城幹事、比護副SAA、三宅さんはじめ7番テーブルの皆様ご利用ありがとうございました。齋藤眞且会員高級シャンパン ANGEL ごちそう様でした。
- ・鹿島 会員 お久しぶりです。
- ・濱田 会員 インフルエンザで人生初めて40度以上の熱が出ました。今、コロナもインフルエンザも流行っているそうです。皆様どうぞご自愛下さい。
- ・石田、柴田 両会員 風が強く乾燥する季節で火災のニュースが増えています。体調管理と共に火の元にも十分注意しましょう。
- ・三役、SAA、副SAA 11月18日の3番テーブル、6番テーブル、7番テーブル、11月27日の1番テーブルミーティングに参加させていただきましてありがとうございました。テーブルマスター、サブマスター、お店の手配を頂いた方々お世話になりました。

公益社団法人神奈川被害者支援センターの永野と申します。横須賀ロータリークラブの皆様には、常日頃から当センターの運営・活動に対して多大なるご理解、ご支援を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。当クラブには令和3年8月26日にお邪魔し、被害者支援の必要性等についてお話をさせていただきました。この度、2回目ということで、貴重な時間をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

当団体は、1回目にお邪魔した時はNPO法人でしたが、今年の2月1日に神奈川県知事より公益社団法人の法人格の認定をいただきました。民間でありながら、神奈川県、神奈川県警察、そして当センターの3者が一体となって被害者支援のいろいろなメニューを組み立てる業務をさせていただいている団体です。

今日は、被害者支援の必要性・重要性、そして命の大切さを学ぶ教室、これは今、児童の犯罪が多くなっている関係でこの授業を学校にお邪魔してやらせていただきたいと各ロータリークラブさんの卓話でもお話しさせていただいているものですが、この2点についてお話をさせていただきます。

まず被害者支援の必要性・重要性についてです。被害者はいつ被害者になるのか分かりません。朝の「行ってきます、行ってらっしゃい」、家に帰った時の「ただいま、お帰りなさい」、これは日常の何気ない会話ですが、被害者になったその時からこの会話ができなくなります。被害者は非常に苦しい立場に置かれているのです。そのような被害者を支援していくことは法によっても決められていますが、根本的には地域の皆様が温かく見守ることによって被害者は救われます。被害者になった途端に被害者は孤立化してしまう傾向にあり、それこそが被害者の回復を妨げている大きな要素となっています。だからこそ、被害者が孤立しないような形で、地域の中において見守っていただきたい、温かく支援をしていただきたい、と思っています。

そして、これは犯罪や交通事故の被害者だけではありません。能登では、今年の1月に大きな地震があり、9月には大水害がありました。そうした被災者の方も被害者の方も、住んでいた住み慣れた場所でもう一度生活をやり直したいというのが本当の気持ちです。それを助けるため、行政もそうですが、やはり一番身近にいらっしゃる地域の皆様が、地域の助け合い、支え合いの中で被害者をしっかりと見守っていただきたいと思います。私は今、各ロータリークラブさんにお話をさせていただいていますが、行政の方にも被害者支援の取り組みがまちづくりの重要な要素です、ということをお願いしています。

また私は、昭和の良き時代の地域の支え合いは本当にうまくいっていたし、そのような地域のコミュニティをもう一度再建しなければダメなんじゃないかと思っています。昔の昭和の良き時代には、地域には本当に面倒見が良いおばちゃんがおりました。本当に困っている人がいると見ていられない。その方は自分で芋の煮ころがしを作って、「おい、食べなよ。困った時はお互い様、遠慮することないよ。」と、勝手に芋の煮ころがしを置いていく。それを召し上がった被害者、困った方はこんな美味しい芋の煮ころがしを食べたことがない。これがまさしく地域の温かい、温かい助け合いじゃないかと、私はそう思っています。これこそが地域コミュニティの復活ですが、実際、今の世の中において個人情報などの制約がある中で、このようなおばちゃんたちが活躍できるか、そういった行動ができるか、というところできなくなっています。そうすると、それに代わってやっていただけるのは自治体である市町村じゃないかと思っています。だから、条例が必要になっています。神奈川県の33の市町村のうち、今日現在、条例が施行されているのは、横須賀、横浜、川崎、相模原、茅ヶ崎、寒川、南足柄、秦野、伊勢原、茅ヶ崎の10です。来年は、7つの市町において新たに条例を施行されると聞いております。私は鎌倉市の懇談会のメンバーで参加させていただいておりましたが、そこで申し上げたのは、鎌倉市の場合は観光、要するにインバウンドが多く、観光客の方が事件に巻き込まれ被害者になったらどうするかということです。全国的にもこういった方々の支援をしているところはありません。税金というか、入湯税的な形で市に支払ってもらうものからの支援方法を申し上げました。どういう形で条例ができたかは分かりませんが、いろいろな話をさせていただきました。

そして、条例を作る中において私が一番申し上げたいのは、被害者支援に対する教育、それを生徒・児童の時からしっかりと行うといったものを条例の中に組み込んでほしいということです。そのような観点で2番目に申し上げるのは「命の大切さを学ぶ教室」です。センターの職員が中学校・高校にお邪魔して、いじめは犯罪であり絶対にやってはいけない、傍観者になってもいけない、と話をさせていただいています。あ

まり聞いたことがない言葉だと思いますが、「被害者予防、加害者予防」、被害者も作らない加害者も作らない、こういった授業をしております、そこでは3つの勇気をお願いしています。

まず、1つ目の勇気は、断る勇気。犯罪に誘われたその時にしっかりと断る。今、闇バイトなどSNSによって犯罪に直面する機会が本当に多くなってきていますが、しっかりと断ること、断ることが自分の将来にとって重要であり、自分の将来を左右します。2番目は、現場離脱の勇気。簡単に言うと現場から逃げなさいということです。自分の意思でそこを離れる勇気を持ってください。3番目は、いじめはノーだと言える勇気。傍観者にもならないことです。こういった3つの勇気を持って自分自身の将来をしっかりと見つめて、犯罪にできるだけ加わらない、という観点でこの被害者予防、加害者予防というお話をしています。ぜひ横須賀市さんでも、この授業を中学校・高校でさせていただきたいと思いますので、機会がありましたら、ぜひ当センターの方にお話をさせていただければ当センターが必ずお邪魔させていただきます。

犯罪が起きてすぐは、被害者は「加害者が憎い、謝ってくれ」となりますが、判決が確定して加害者が矯正施設に入ると被害者は徐々に昔の事件のことを「忘れたい」、だから「もう謝罪はいいよ」となります。逆に、加害者は自分が仮釈や満期が近くなると、被害者に謝罪をしたいとなります。ただ、加害者の謝罪にはいろいろな意味があり、本当に申し訳ない、被害者の一生を台無しにしたと謝罪する者はしっかりと更生します。ですが、自分の肩の荷を下ろす、自分の気持ちをすっきりさせたい、娑婆に出るために重しを取り除きたい、そのような意味で謝罪をする者は、その言葉を発した時から新たな犯罪の道を歩む、再犯をすると思います。このような再犯を防止するためにも「命の大切さを学ぶ教室」を是非とも中学校、高校でやらせていただきたいと申し上げます。

実際の事件の例を話します。小学校1年生の女の子が同じ学校の高学年6年生の男の子にいたずらとか、もっとひどい大人まがいの犯罪行為をされました。でも皆様ご存知だと思いますけど、小学校6年生は触法少年ですから罪には問われません。被害者の女の子はその事件以来不登校になり学校に行けないんです。かたや加害者の児童は平々凡々として塾に通い、将来はいい中学、いい高校、いい大学、一流会社、そういった道を歩もうとしています。親も子供の将来がありますから、被害者の方に「その話はしないでくれ、近寄らないでくれ」と、謝罪すらしません。それでいいのでしょうか。その男の子に対してしっかりと「お前のやったことは犯罪なんだよ」と親が言えるような教育をしなければ、その子はもっと大きなことをして高い塀の中に入る羽目になります。それをさせないための授業が、私たちの行っている「命の大切さを学ぶ教室」だと思っております。そういった授業をしっかりと中高生に教えることによって、被害者にもそして加害者にもならないような社会を作っていきたいと思っておりますので、今後ともご支援の程よろしくお願ひしたいと思います。本日はありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 三井 英夫